

## KS-25-9（新青丸）共同利用研究航海報告書

- \* 航海番号           KS-25-9次研究航海
  
- \* 航海名称           能登半島地震に伴う堆積物輸送過程と底生生態系への影響解明  
Understanding of sediment transport process caused by 2024 Noto  
earthquake and its influence on benthic ecosystems
  
- \* 観測海域           日本海能登半島東部  
East of Noto Peninsula, Japan Sea
  
- \* 航海期間           令和7年8月9日（土）～令和7年8月14日（木）
  
- \* 出港日時・場所       8月9日14時舞鶴港
  
- \* 入港日時・場所       8月14日10時青森港
  
- \* 寄港期間・場所       なし
  
- \* 研究課題           能登半島地震に伴う堆積物輸送過程と底生生態系への影響解明
  
- \* 主席研究員（氏名・所属・職名）  
佐川拓也・金沢大学・准教授
  
- \* 研究内容，主調査者，観測項目
  1. 堆積物輸送による底生生態系への影響評価、ジェンキンスロバート、マルチプルコアラーによる表層堆積物コアの採取
  
  2. 堆積物輸送による海底の攪乱、佐川拓也、ピストンコアラーによる長尺堆積物コアの採取
  
  3. 浅海堆積物の分布調査、佐川拓也、オケアングラブ採泥器による表層堆積物の採取
  
  4. 詳細海底地形の調査、高下裕章、マルチビーム測深機、サブボトムプロファイラによる海底探査
  
- \* 乗船研究者氏名・所属・職名
 

佐川 拓也           金沢大学 理工研究域 准教授

ジェンキンス ロバート   金沢大学 理工研究域 准教授

鹿児島 渉悟       富山大学 学術研究部理学系 助教

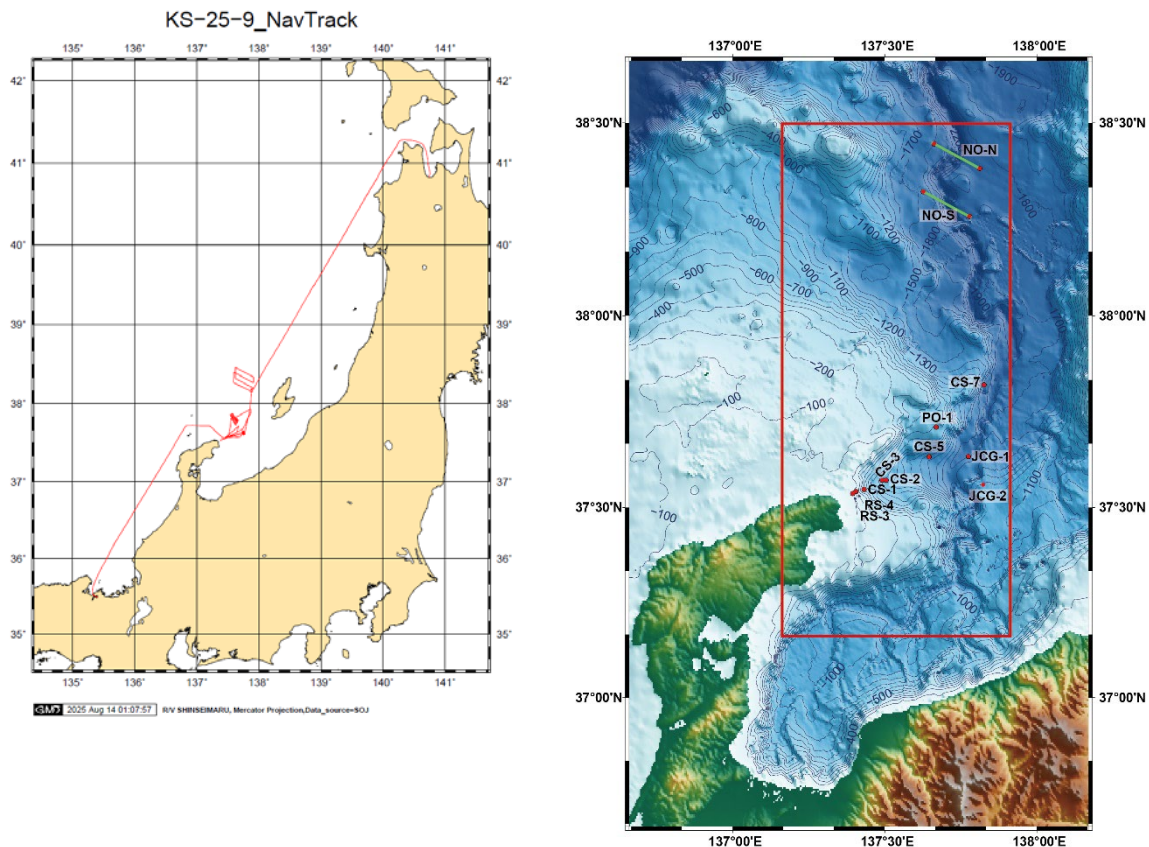
井尻 暁 神戸大学 海事科学研究科 教授

土岐 知弘       琉球大学 理学部 准教授

高下 裕章       産業技術総合研究所 研究員

|        |                      |
|--------|----------------------|
| 亀尾 桂   | 東京大学 大気海洋研究所 技術専門職員  |
| 野崎 拓真  | 金沢大学大学院 自然科学研究科 大学院生 |
| 早川 杏珠  | 金沢大学 理工学域 学部学生       |
| 島袋 桜   | 金沢大学 理工学域 学部学生       |
| 佐々木 竜太 | 金沢大学 理工学域 学部学生       |
| 阪井 康真  | 神戸大学大学院 海事科学研究科 大学院生 |
| 高取 元   | 神戸大学大学院 海事科学研究科 大学院生 |
| 安慶名 希彦 | 琉球大学 理学部 学部学生        |

\* 航跡・測点図



\* 研究活動・観測の詳細や成果等について

本航海は令和6年能登半島地震によって変形した海底地形や崩壊した堆積物の実態を把握することと、それによる底生生態系への影響を理解することを目的とし、能登半島東方沖において海底地形調査と堆積物採取を行った。2024年3月の白鳳丸緊急航海(KH-24-E1)の採泥サイトを数点再訪し、1.5年間における底生生物群集の変化も調査した。

海底地形調査は、採泥予定地点周辺、海底地滑りの報告がある海域、富山深海長谷周辺を観測し、詳細な地形データを得た。

合計8サイトの水深435-1756mの範囲においてマルチプルコアラによる表層採泥を行った。うち5サイトではピストンコアラを用いて6mの柱状堆積物コアを採取した。また、禄剛埼東方の浅海域でオケアングラブ採泥器を用いて2点表層堆積物の採取を行った。

CS-1: MC, PC

PO-1: MC, PC

CS-5: MC  
JCG-1: MC, PC  
CS-3: MC, PC  
RS-4: OG  
RS-3: OG  
CS-2: MC  
JCG-2: MC  
CS-7: MC, PC

(MC: マルチプルコアラー, PC: ピストンコアラー, OG: オケアングラブ採泥器)

今後、堆積物コアについて堆積相の解析を行い、海底地すべりや混濁流の分布を明らかにしていく。また、表層堆積物中の底生生物種の同定を進め、堆積構造や堆積物組成と生物種の関係などを調査していく予定である。これらにより、令和6年能登半島地震によって能登半島周辺海域における海底環境の変化を明らかにする。

### Notice on Using

This cruise report is a preliminary documentation as of the end of cruise.

This report is not necessarily corrected even if there is any inaccurate description (i.e. taxonomic classifications). This report is subject to be revised without notice. Some data on this report may be raw or unprocessed. If you are going to use or refer the data on this report, it is recommended to ask the Chief Scientist for latest status.

Users of information on this report are requested to submit Publication Report to Cooperative Research Cruise office.

E-mail: kyodoriyo@aori.u-tokyo.ac.jp